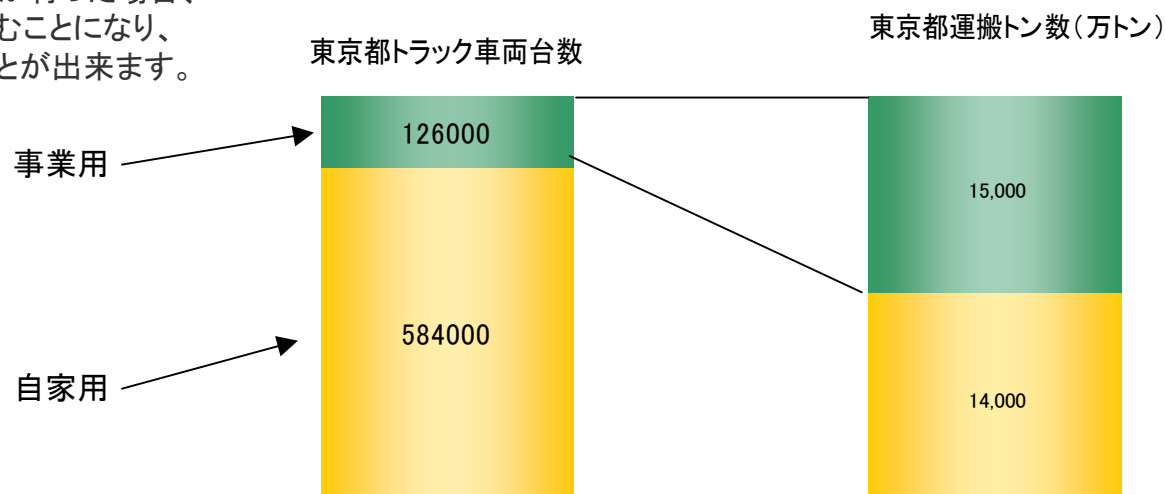


自便アウトソーシング化のメリット、デメリット

東京都を例に取りますと、都内には71万台のトラックが登録されています。
 このうち12万6000台が事業用車両（緑ナンバー）であり、都内全体の17%程です。
 しかし、荷物の輸送量は自家用トラックが年間1億4000万トンに対し、
 緑ナンバーのトラックはほぼ同量以上の
 年間1億5000万トンを輸送しています。
 つまり、**少ない台数でも大量の荷物を効率良く運んでいる**こととなります。
 仮にこの輸送を全て事業用トラックが行った場合、
 トラックの台数は25万台あれば済むことになり、
 環境への影響を大幅に改善することが出来ます。



アウトソーシング化のメリット・デメリットとは

<デメリット>

- ・急なオーダーへの対応に要する時間が若干なりと増加する
- ・自社運行時の車両稼働率が約70%を越えれば
 アウトソーシングの方がコスト増になる

<メリット>

- ・車両回転率向上による1運行あたりの車両コスト削減
- ・御社車両運転手様の業務時間が効率化
 （専属ドライバーを雇用されている場合、弊社への転籍も可能）
- ・運行時のリスク回避（納品予定者が急用で休暇される場合など）
- ・整備費用、保険代、各種税金、駐車場代、燃料費の削減